



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただけます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

福原中3年生による「卒業プロジェクト2025 ミニ福原コンサート」

3月10日(月)に、福原中学校にてコンサートが開催されました。これは、福原中学校の3年生が計画した「卒業プロジェクト～より良い締めくくりにするために～」の一環で行われた事業であり、「卒業に向けて学校や先生方、地域、仲間への感謝の気持ちを伝えること」「最後まで学年全体で活動を行い、充実感を持って卒業に向かうこと」を目的として企画されました。約40名の地域の方々を前に、まさに“合唱の福原”の名にふさわしい、美しい歌声が響く、素敵なコンサートでした。



■生徒あいさつ

【地域担当委員長 矢萩 愛実さん】 今日のコンサートは、日々私たちを支えてくださった地域の皆様へ感謝を伝えるため開催させていただきました。私たちの合唱が皆様に感謝を伝えられるものになるとともに、何かを感じられるものになったら幸いです。私たちができる最高の合唱で地域の皆様に感謝を伝えられたらと思います。

【石川 飛夢さん】 僕たち17名はこれからそれぞれの進路で、それぞれの目標に向かって歩んでいきます。進む道はバラバラでも、スタート地点は、みんなこの福原であり、それは一生変わりません。地域の皆さんの温かな支えを忘れず、これからも一生懸命歩んでいきます。

■地域の方々の感想

- ・地域の皆さんがこれだけ集まってくれたことから、この福原中学校は子供達や地域の方々にとって思い出が詰まった、本当に大切な場所であると改めて実感した。子供達は、学校生活を通して日々成長していることを感じた。成長した姿をこのような形で披露した、本当に素晴らしい機会だった。(矢作廣昌さん)
- ・最初に案内をいただいたとき、「地域に還元したい」という3年生の思いに感激し、胸が熱くなった。今日のコンサートは本当に素晴らしかった。昨年度、命の授業にて私が講師となり、生徒全員が即興で寸劇を行う学習を行ったとき、心一つにまとまる学年だなと思ったが、今日の合唱でもそれを強く感じた。曲の歌詞もメッセージ性があり素晴らしく、大変感動した。合唱が彼らの学校生活を支えていたのだろうと強く感じた。卒業後も合唱を大切にしていた気持ちを継続して持って生活してほしい。(笹原慶一郎さん)

合唱には「美しいハーモニーを響かせ、感謝の気持ちを伝える」「仲間の歌声を感じながら歌うことで、仲間の大切さを知る」「歌詞の意味を歌声にのせ、歌の世界観を表現して感動を与える」などの良さがあることを改めて学びました。地域と学校がつながる瞬間に立ち会うことができ、「『地域とともにある学校』の価値」「地域の中で子供は育つこと」を実感する機会となりました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
指導係長 田中 雄大
TEL 23-3330